

平成 28 年 6 月 30 日（木） 8 : 45

APEC WEF 2016 High Level Policy Dialogue on Women and the Economy

ハイレベル政策対話における基調講演

【英語】

- 横浜市長の林文子です。今年もここで基調講演を行う機会をいただき、大変光栄です。議長の Marcela HUALTA ALEGRE 大臣をはじめ関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。
  
- 私は APEC 首脳会議が横浜で開催された 2010 年から、「女性と経済」に関する議論に参画しています。この首脳会議における「成長戦略」には初めて「女性の活躍」が明記されました。翌年、クリントン議長のもと採択された「サンフランシスコ宣言」では、優先的に取り組む分野が特定され、エコノミーを挙げて「具体的な行動」をとることが約束されました。
- これ以降、「女性と経済フォーラム」は、「議論」だけでなく「行動」を推し進める場へと進化しました。課題とベストプラクティスの共有により取組を高め合い、多様な立場の参加者によるネットワーキングを進め、APEC 全体での「女性の経済参画」を、確実に前進させています。
- しかし、エコノミーあるいは地域によって「参画」の度合いは異なり、IT 化、経済のグローバル化が進んでもなお、全ての女性たちが個性と能力を発揮するには至っていません。「障壁」は、今なお根強く残っています。私たちはまだ、成功への途上にあります。
  
- 私は、373 万人の人口を擁する日本最大の市・横浜市の市長として、市民生活の実情に寄り添った施策を進め、様々な「障壁」を打ち破るために力を尽くしてきました。
- 「日本一女性が働きやすく働きがいのある都市」を目指し、保育所待機児童の解消に先駆的に取り組んでいます。また、日本でこの春 全面施行した「女性活躍推進法」を追い風に、長時間労働などの労働慣行の見直し、女性の経営者・管理者層の拡大に、重点的に取り組んでいます。
- 更に、女性たちが「育児」に加え「親の介護」という二つの負担を抱えるリスクにいち早く着目し、実態調査を始め、対応に着手しています。この取組は国を動かし、日本全国の調査につながりました。
- 市民生活の実態に密着した「都市」だからこそ、潜在的な課題を掘り起こし、ニーズに即した実効性の高い施策を展開できる。私たちの取組と成果が、国全体の課題解決につながり、国を越えて波及していくと確信しています。

- 私たちが女性活躍のために進めてきた施策は、ダイバーシティの実現にもつながるものとして、横浜に多くの人と企業を惹きつけています。外資系企業の本社、学術・研究開発機関の立地数は、国内の政令指定都市で一位です。
- そして横浜では来年5月、アジアでの開発支援をリードする ADB が、第 50 回年次総会を開催します。横浜市と ADB はかねてから持続可能な都市開発に向けて連携を強めており、1 年後に向けて、ともに女性活躍のムーブメントを高めてまいります。
  
- 今年、ここリマで行われた議論にも学ばせていただき、今後も世界的な女性活躍支援における役割を果たしてまいりたいと思います。
- 国家、都市、国際機関、企業、NPO 等、あらゆる主体が総力を結集すれば、打ち破れない「障壁」はありません。APEC-WEF の枠組みには、その力があります。女性たちのグローバルな活躍が当たり前になる日を、一緒に、一日も早く実現していきましょう。ありがとうございました。

(約 1300 字)